

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	墨田こどもの家		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。	始まりの会で、スケジュールの提示や必要な情報を習得できるよう視覚的な支援を中心に、環境を整える取り組みを行っている。	バリアフリー化を目指し、検討していく。
2	子どもが自由に遊べるスペースが確保されている。	意識的にものを少なくし、子どもが安全に遊ぶスペースを確保している。	躰き防止のため、絨毯の張替えを行っている。
3	お子さんの特性に配慮し、身近自立を目指す中で社会性を養う支援を行っている。	長期的な視点により、子どもの現状を鑑み、無理のない範囲で見通しを持って取り組めるような支援を行っている。	それぞれの発達状況に応じて、支援内容の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士やご家族への交流の機会を設けることがなかなか難しい。	以前に夏祭りを開催したことがあったが、人員や予算の都合上開催することが難しい現状である。	どうしたら開催できるのかどうかを含めて検討していきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 墨田こどもの家

公表日 令和8年 3月 11日

利用児童数 14

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				記載なし	広いスペースを確保しており、体動が 活動時には有効に活用しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			2	送迎時、職員が一人の時は大変そう。	随時募集をかけております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				記載なし	予定などは可視化しており、分かりやす くする工夫をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				記載なし	毎日掃除を行い、清潔に保ってしま す。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				記載なし	お子様の状態に関しては、日々のミー ティングで共有しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				記載なし	支援プログラムは職員間で共有したう えで、支援を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				記載なし	職員全体で、モニタリングや支援会議を 行い、個別支援計画を作成してしま す。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1	記載なし	必要な支援を具体的に考え、作成を行 っております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				記載なし	サービス計画は、職員で共有し、支援を 行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			記載なし	活動が偏らないように、工夫行ってい ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	10	そのような機会はなかった。	検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				記載なし	ご不明点がございましたら、遠慮なく お問い合わせください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				記載なし	丁寧な支援内容の説明を心掛けてしま す。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	1	8	そのような機会はなかった。	検討していきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14				お迎えの時、当日の様子を伝えてくれる ので、分かりやすいし、助かる。	必要に応じて、連絡帳、送迎時、電話等 でお伝えしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2			記載なし	ご相談は随時受け付けております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				記載なし	職員の研修等の機会を設け、支援の向上 に努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	1	8	そのような機会はなかった。	検討していきたいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1	記載なし	ご相談は随時受け付けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			記載なし	必要に応じて対応しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13		1	インスタ見えます。	インスタグラムを活用しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13		1	記載なし	引き続き十分に気を付けて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	5	記載なし	発生を想定した訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	5	記載なし	避難訓練を実施しております。その他、インスタグラムに載せております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		記載なし	安全の確保は十分に気を付けて支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1	記載なし	そのような場合には速やかな連絡対応を行って参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			記載なし	気持ちに寄り添いながら支援をしていくよう努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			学校、家以外の居場所になっている。	活動内容、自由時間の充実に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			記載なし	職員間で支援の振り返り等を行いながら、日々の支援にあたるよう、努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		墨田こどもの家		公表日		令和8年 3月 11日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		物が少なく、活動時には広いスペースを活用することができる。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	1		職員の数が増えると更に良い。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	1	始まりの会など視覚的支援を行っている。また、タイマーなどを使用している。	トイレに手すりがついていると良いと感じるため、今後検討していきたい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		物が少なく広いので、走る活動ができる。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	1	個別の部屋がないため、空間を分けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員で業務に関しての話し合いを行う機会を設けている。	目標設定を行った後の振り返りまでの期間を細かく取り決められるとよい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員全体で共有している。	業務改善を行い、その後の振り返りの機会を設けていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングなどの意見交換を行っている。	管理者との面談の機会が定期的にあると良い。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		定期的に従業員向け、保護者向けのアンケート調査を行っている。	第三者による外部評価を行っていないため、今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修の機会や法人内での研修の機会が設けられている。また、外部研修を行った際は、研修内容を職員間で共有する機会を設けている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを職員間で共有することができる。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		モニタリングをするなど、職員全員で参画している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全体で支援会議を行い、サービス計画の作成に参画することができる。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画に基づき、情報を共有しながら支援を行うことができる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		職員全体で支援会議の際に、アセスメントを行うことができる。	職員間でアセスメントの認識を深めていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		職員全体で支援会議を行うとともに、作成されたサービス計画を共有することができる。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	課題表を作成している。必要に応じて、課題の変更など、柔軟に対応を行うことができる。	職員間で話し合える時間があると尚良い。特定の職員で行っている為、今後職員間で交代できると尚良い。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		曜日などを考えて、同じ課題にならないように工夫している。	さらに新しい活動を増やしていきたい。職員間で話し合う時間があると良い。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		活動内容を個別や集団など組み合わせ支援を行うことができている。	課題の内容をさらに検討していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		職員全体で話し合いをし、開始前に前日の振り返りと内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		引き継ぎ事項を記載しており、それぞれ確認を行い、情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日担当児童の記録をとることで行えている。記録を取って、気になる点は、職員間で話すことができている。	検証、改善案を職員間で話して、随時行っていけるように努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に職員全員でモニタリングを行うことができている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		職員間で話し合い、共通の理解ができている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		選択する機会を設けたり、成功体験を増やせるように支援を行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理職が参画し、職員に共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		連携することができている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		下校時に学校の先生と話す機会がある。先生が見学に来ることもある。	学校行事を行う前の予行練習も含めて確認し、支援に活かしていけたら良い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	情報共有を行っている。	必要に応じて各機関に情報提供を求めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		中学・高校生が利用している施設に移行している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		連携を取り、必要に応じて研修の機会を設けることができている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	公園などで地域の子供たちと関わる機会がきている。	公園に行く時間をより増やせると良い。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時などにも状況を伝えることができている。必要に応じて電話などで伝えている。	保護者に状況を伝えた後の支援について、職員間で話し合う機会を深めていきたい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	研修の機会を検討している。	家族だけでなく職員も参加できる家族支援の研修の機会を検討したい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学时、契約時に説明を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		家族の意向アンケートを取り、職員全体で支援会議を行い、サービス計画を作成している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談の時に提示し、説明している。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談は随時お受けしており、その都度対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	保護者会など、保護者同士で交流する機会の検討を行っている。	保護者だけでなく、兄弟含め交流する機会を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった際は迅速に対応し、職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		必要な際は発信している。	インスタなどのSNSを継続して取り組む。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		細心の注意を払って取り扱いを行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		文字やジェスチャーなど活用しながら行うことができている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域のお祭りに参加している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルの策定、年2回の避難訓練などを行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬、てんかん発作など、家族と情報を共有することができている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		おやつ準備の際は好き嫌いを考慮している。必要に応じて、保護者から都度情報を得ている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画の作成、研修や訓練など行うことができている。	必要に応じて見直す機会を設けていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		家族との連携が行えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハットを記載する場面が少ない。	ヒヤリハットの活用を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を行い、職員間で共有することができている。	日々の支援を振り返り、虐待防止につなげていきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		保護者に説明を行い、必要な場面では職員間で協力しながら支援を行っている。	職員間で、場面を想定した研修など機会を学びにつなげていく。	